



平成25年1月10日

株式会社七十七銀行
国立大学法人東北大学

七十七銀行・東北大学震災復興共同企画<第2弾>
「東北大学ラボツアー ～若手エンジニアがつくる 東北の未来～」開催のご案内

株式会社七十七銀行（頭取 氏家 照彦、以下「七十七銀行」）と国立大学法人東北大学（総長 里見 進、以下「東北大学」）は、「連携協力に関する協定」に基づき、産学連携を通じた地域産業の発展と震災復興に向けた地域経済の活性化への取組みとして、地域企業が東北大学の研究室を訪問する「東北大学ラボツアー」を開催いたしますので、下記のとおりご案内いたします。

本ラボツアーは地域企業の技術力向上および若手エンジニアの育成支援を目的に、金融機関と東北大学が初めて取組む研究室体験型の産学連携企画であり、東北大学の担当教員から自動車産業に関する先端技術や特色ある研究内容の説明を受けながら、実際に研究施設や装置等をご覧いただけます。

記

1. 日 時 第1回 平成25年2月19日（火） ①Aコース 9：00～12：00
②Bコース 13：30～17：00
第2回 平成25年2月22日（金） ①Cコース 9：00～12：00
②Dコース 13：30～16：00
2. 場 所 東北大学 片平キャンパス（仙台市青葉区片平2-1-1）
青葉山キャンパス（仙台市青葉区荒巻字青葉6-6）
3. 主 催 七十七銀行、東北大学
4. 対 象 主に製造業を営む企業の皆様（全4回、各コース定員10名、合計40名）
5. 内 容
 - (1) 第1回
 - ①Aコース「自動車産業関連コース①」
見学内容 金属・加工等（加工プロセス・リサイクル）、電気・電源関係分野の研究室訪問
 - ②Bコース「自動車産業関連コース②」
見学内容 ロボット、金属・加工等、微小電気機械システム（MEMS）分野の研究室訪問
 - (2) 第2回
 - ①Cコース「東北大学を知りたいコース①」
見学内容 ロボット、環境科学、次世代2次電池分野の研究室訪問
 - ②Dコース「東北大学を知りたいコース②」
見学内容 超臨界技術、結晶材料、半導体技術分野の研究室訪問

※詳細は、別紙チラシをご参照ください。

<ご参考>七十七銀行・東北大学震災復興共同企画 開催実績

1. 名 称 「ものづくり個別相談会」
2. 日 時 平成23年12月20日(火) 13:00~17:00
3. 場 所 東北大学 片平さくらホール(片平キャンパス内)
4. 内 容 第1部 セミナー「東北大学の産学連携相談体制の紹介」ほか
第2部 個別相談会
5. 参加企業 51社(個別相談49件)

以 上

お問い合わせ先

七十七銀行地域振興部地域振興課

担当：砂子、斎藤 電話：022-211-9804 FAX：022-267-5303

東北大学産学連携課リエゾン室

担当：高橋、金野 電話：022-217-6045 FAX：022-217-6047

震災復興共同企画〈第2弾〉

東北大学ラボツアー

～若手エンジニアがつくる 東北の未来～

七十七銀行と東北大学が連携し、地域企業が取り組んでいる技術や新製品開発に関する課題解決のサポートと若手エンジニアの人材育成を目的として「東北大学ラボツアー」を開催いたします。今回は、東北大学の研究施設を直接訪問し、担当教員から自動車産業に関する先端技術や東北大学の特色ある研究内容の説明を受けながら、実際に施設や装置等をご覧いただけます。企業の皆様のご参加をお待ちしております。



第1回 平成25年2月19日(火)

開催場所：東北大学片平キャンパス→青葉山キャンパス
(仙台市青葉区片平 2-1-1)

9:00
～12:00

Aコース 自動車産業関連コース①

募集人数 10名

研究分野：金属・加工等(加工プロセス・リサイクル)、電気・電源関係

見学先：多元物質科学研究所・金属材料研究所・医工学研究科

13:30
～17:00

Bコース 自動車産業関連コース②

募集人数 10名

研究分野：ロボット関連、金属・加工等、MEMS

見学先：電気通信研究所・工学研究科・マイクロシステム融合研究開発センター

第2回 平成25年2月22日(金)

開催場所：東北大学青葉山キャンパス
(仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6)

9:00
～12:00

Cコース 東北大学を知りたいコース①

募集人数 10名

研究分野：ロボット関連、環境調和材料、次世代2次電池

見学先：工学研究科・環境科学研究科・未来科学技術共同研究センター

13:30
～16:00

Dコース 東北大学を知りたいコース②

募集人数 10名

研究分野：超臨界技術、結晶材料、半導体技術

見学先：未来科学技術共同研究センター・未来情報産業研究館

申込方法：裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお送り下さい。
注意事項：全コース10名定員のため、お申込み多数の場合には、ご希望に添えない場合がございますので、予めご了承ください。当日の集合場所等の詳細スケジュールについては、別途ご連絡させていただきます。

申込締切
平成25年1月31日(木)

お申込み先 七十七銀行 地域振興部 地域振興課 TEL. 022-211-9804 FAX. 022-267-5303

お問い合わせ 東北大学 産学連携課 リエゾン室 TEL. 022-217-6043

『東北大学ラボツアー』 参加申込書

送付先

七十七銀行 地域振興部 地域振興課

FAX 022-267-5303

申込締切

平成25年

1月31日(木)

1. 記載事項 (必須) ※ご記入頂きました情報は、当該事業の運営管理に必要な範囲で利用するほか、各種案内・情報提供等に利用することがあります。

貴社名			
所在地			
事業内容			
参加者氏名	所属・役職 (担当業務)	()	
電話	E-mail		
FAX	取引店	七十七銀行	支店
その他(技術開発・新製品開発にかかるご相談等がございましたら、ご記入ください。)			

2. 希望コース (必須、○をつけてください)

	2月19日(火)午前 Aコース 自動車産業関連コース①	2月19日(火)午後 Bコース 自動車産業関連コース②	2月22日(金)午前 Cコース 東北大学を知りたいコース①	2月22日(金)午後 Dコース 東北大学を知りたいコース②
第1希望				
第2希望				

見学コース紹介

コース	見学先	研究室	研究テーマ	研究概要
A	多元物質科学研究所	中村研究室	希少金属抽出技術	自動車用モーターなどに使用される Dy(ジスプロシウム)など希少元素高効率抽出技術や、レアメタルやレアアースを含む廃棄家電(都市鉱山)からの希少元素の回収・再生への応用を目指しています。
	金属材料研究所	千葉研究室	加工プロセスによる材料開発	高速で高密度かつ高強度な金属部品を金型無しで成形する電子ビーム積層造形技術や航空機用、自動車用、一般民生品用などへ応用が期待されるチタン合金の低コスト化と生産性向上技術を紹介する。
	医工学研究科	松木研究室	非接触エネルギー伝送システム	非接触電力伝送技術を用いて、産業機器、医療機器の開発を行っており、携帯電話に代表される小型電気機器から、電気自動車や工場内搬送装置に至るまで、数ワットから数十キロワットクラスの幅広い非接触電力伝送を手掛けている。
B	電気通信研究所	石黒研究室	実世界コンピューティング	1. 超大自由度ソフトロボットの制御 2. 遊泳、飛行、歩行、走行における自立分散制御 3. 多芸多才な振る舞いの発現原理の力学的解明とロボティクスへの応用
	工学研究科	厨川研究室	ナノ精度機械加工技術(研削、切削、研磨、成形加工)	ナノオーダーの超平滑な表面やナノ精度の3次元形状を有する自由曲面等の構造体を創成する超精密機械加工技術など
	マイクロシステム融合研究開発センター	江刺研究室	MEMS 試作コインランドリ	圧力センサ、加速度センサなどに広く使われている MEMS 技術について、各種半導体試作開発に関わるラインを低料金で企業などに開放し、必要な時に必要な装置を利用頂けるほか、実用化に向けてアドバンス等の支援を行っております。
C	工学研究科	吉田研究室	宇宙探査ロボットの研究・開発、超小型人工衛星の研究・開発	月や火星などの未知の不整地を移動探査するロボットの開発を中心に、レーザー測距の技術を用いた自律制御および遠隔操縦支援に役立てる技術を開発。JAXA 小惑星探査機「はやぶさ」の開発にも参画。
	環境科学研究科	石田研究室	環境調和材料、環境創成材料	土の微構造を使った無電源エアコン、カタツムリの殻のメカニズムを利用した防汚素材、泡を利用した水の要らないお風呂、トンボの羽のメカニズムを利用した風力発電機など、自然界から技術を見つけ出す、ネイチャー・テクノロジー手法の開発を行っている。
	未来科学技術共同研究センター	小濱研究室	環境親和システム、省エネルギー	1. 地面効果を用いた高効率高速輸送システムのエアロトレイン 2. 電気自動車や災害時用途に向けたマグネシウム電池の開発
D	未来科学技術共同研究センター	阿尻研究室	超臨界、ハイブリッド材料	超臨界・超ハイブリッド材料技術を基盤として、耐熱性高熱伝導性・絶縁性など相反する特性を併せ持つ革新的な有機無機ハイブリッド材料を開発し、デバイス等の軽量化や省資源・省エネルギーの実現を目指している。
		吉川研究室	光学結晶、シンチレーター	高性能のシンチレーター結晶等を開発し、乳がん診断用装置、放射線検出器、燃焼圧センサーの材料として活用されております。エネルギーを自在に操る材料の開発と製造方法の研究を進めています。
		大見研究室	半導体材料、シリコン LSI	エレクトロニクス情報通信分野の発展の要となる超高性能システム LSI の実現を目標として、半導体製造装置の開発、プロセス技術の研究、超高速デバイスの開発等、シリコン半導体に関わる幅広い研究を行っている。